

施策3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくります

10年後のめざす姿

- ・区は、中長期的な社会状況の変化に柔軟に対応できる財政力と組織体制を整え、最小の経費で最大の効果を発揮する区政運営を実現しています。
- ・区は、地域力を最大限に引き出すための施策を積極的に実施しています。

施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
基本計画で設定したモノサシ(指標)の目標に到達した割合(%)	-	100%	100%
財政健全化法の4指標の達成率(%)	100%	100%	100%

現状と課題

- 効果的な予算編成や職員数の適正化に対する区民の関心・期待は高く、職員数の減少傾向は今後も続くものと予測
- 情報化社会の進展が進むなか、区民の行政に対するニーズはますます複雑化・多様化
- 変化する社会状況に対して、限られた職員数で対応するためには、職員一人ひとりの能力を向上させ、企画力や交渉力など、自治体経営に必須の能力を備える必要あり
- 職員個人の資質に頼るだけでなく、より大きな力を発揮できるよう組織の力を強化し、さらには、民間の力を活用した行政サービスを展開することが必要
- 安定的な行財政運営の確保や築30年以上経過しているなどの区有施設の計画的更新のほか、重要性が増している行政情報の活用などが必要
- 区は、区民に最も身近な自治体として自律的な行財政運営を行うとともに、地方分権の進展により拡大する役割と区民からの期待に対して、基礎自治体としての責任を十分に果たし、10年先を見据えた総合的な地域経営を行っていくことが必要



地域力と行政力(イメージ図)

施策の方向性と主な事業

① 柔軟性と行動力のある職員の確保・育成

- ・多様な実施や通じたコーディネート感覚を
 - ・区政運営めざし
- 任用制度を活用した人材確保策の職員提案制度の推進、適材適所を人材育成などを行い、企画力、イネート力、行動力、コストもった職員体制を実現
- 営で最も重要な地域力の推進をた職員の育成、職員配置を実施

能力開発・能力活用型職員配置の推進

の異動においては、職員の能力活用をより重視

個々の仕事に対する意欲向上の喚起や開発も視野に入れた職員配置を推進的には職員配置権限のあり方なども検討

② 効果的な政策を立案・実施できる組織づくり

- ・区の組織改革や事業を進める方法の改善など、今後も継続的に行政改革を推進するとともに基礎自治体として政策を企画立案する機能・部門の強化を実施

大田行政経営プランの推進

◇大田行政経営プランに基づき、予算の編成や事業を実施していく段階において、様々な行政経営手法を検討し、効率的・効果的な行政運営を推進

調査研究・企画機能の拡充

◇基本構想に掲げる将来像や基本計画の目標を実現するため、大学などとの連携を図り、自治基本条例や区政を取り巻く課題、行財政運営などに関する調査・研究体制を確立

◇都区のあり方や道州制など、地方分権改革の動きを把握し、大田区の自治のあり方を調査・研究

④ 行政情報の安全かつ効率的・効果的な活用

- ・行政情報を安全かつ効率的・効果的に活用できるよう計画的に庁内の情報システムを維持・拡充
- ・重要な行政経営資源である情報を最大限に活用できる体制づくり

行政情報基盤の整備

◇区民サービスを総合的に提供できる環境を整備

◇インターネットなどの外部接続環境の整備、統合型GIS構築など、区内部の情報基盤を整備・拡充

③ 健全で自律した行財政運営の推進

- ・歳出面備える社会基大きなおける
 - ・歳入面確保の踏まえ考慮しさらに
 - ・平成20年度から実施している区民税、国民健康保険料などの納付における力の活用や命名権など、新たな保策を積極的に実施
- においては、今後の財政負担のため、道路や橋梁、学校などの盤整備・更新など、将来的に財政負担を伴う事業や各分野に行政需要を的確に把握
- においては、公債権の公正な収納体制整備のほか、経済状況をた積立基金の有効活用と安全性をた上での確実かつ効率的な運用を推進

⑤ 区有施設の利活用の促進と地域拠点化

- ・耐震性区有施設需要にビルド
 - ・特別出施設と
- や安全性のほか、環境対策を取り入れた施設の計画的な改築・改修の実施や、行政対応した施設のスクラップ・アンド・を推進
- 張所などを中心に、区有施設を地域の拠点位置づけ、社会インフラとしての機能を充実

大田区公共施設整備計画の推進

◇平成20年度に策定した公共施設整備計画に基づく改修などを計画的に推進

区民利用施設の改築

◇公共施設整備計画に基づき、老朽化が進む区民利用施設の安全性を高めるために施設の改修などを推進

⑥ 民間の力を区政に活かす仕組みづくり

- ・区民サ業務委
- ービス低下などのリスクをコントロールする仕組みを拡充する中で、指定管理者制度や託など、民間が有するノウハウを区政運営に活用

施策3-3-2 透明性の高い区役所をつくります

10年後のめざす姿

- 多くの区民が、区政に高い関心を持ち、知りたいと思う区政情報がいつでも手軽に入手できます。
- 区は、区民の多様な意見を区政に活かす仕組みを整え、活用しています。



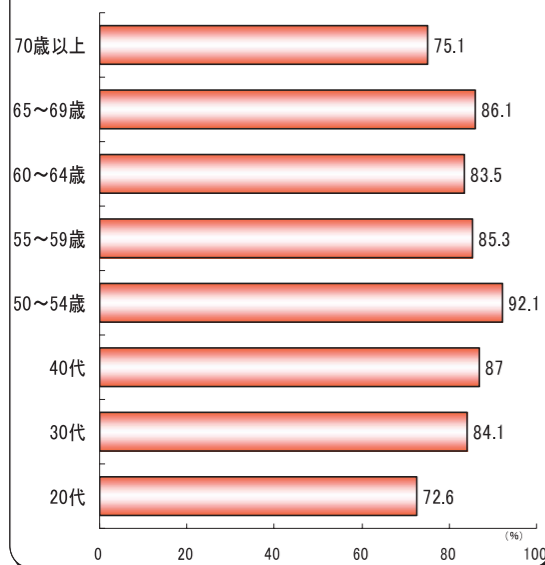
施策の指標と目標値

モノサシ(指標)	現 状	25 年度	30 年度
「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合 (%)	-	30%	40%
区民意見公募手続 (パブリックコメント) に寄せられた意見数 (件)	680 件	700 件	750 件

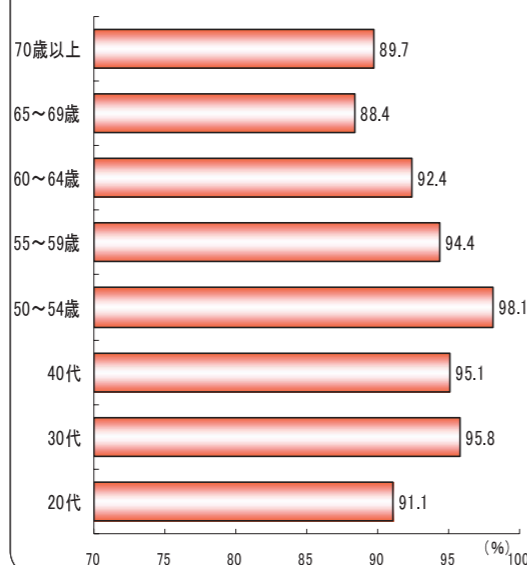
現状と課題

- 地方分権改革が進むなか、ますます自律的で区民に身近な区政の実現が重要。自主性・自律性に富んだ区政を展開するためには、区民の区政参画の推進のほか、情報公開をはじめとする区政の透明性が重要
- 大田区では、区民参加や外部監査結果の区民への公表などを進めてきたが、今後とも区政参画の仕組みをさらに充実し、情報公開や意思決定過程の透明性の確保、説明責任の徹底が必要
- より広く区民の声を聞き、区民が区政に直接参画できる機会を増やし、区民が創り育てる区政への転換が重要

「区政への区民参加」を重要と考えている区民の割合



「情報公開」を重要と考えている区民の割合



出典：大田区政に関する世論調査（平成20年7月実施）

施策の方向性と主な事業

① 区政 参画機会の充実

- 区民の
できる
- 区民による区民のための区政のさらなる推進をめざし、区民が主体的に区政に参画するような仕組みづくりを展開

- 区民の新
◇区民
◇区民
- 新たな区政参画制度の導入
の区政参画を促進するために区政サポーター制度を実施し、区政の広聴機能を拡充提案制度を設け、区民のアイデアを区政に反映する仕組みを充実



羽田地区・連帯のシンボルマーク

② 区政 の透明性の向上

- 区民に
めざし
- 入札制
- 信頼される透明性の高い区政運営を実現するために「正確、早い、わかりやすい」をた区政情報の発信と、区の説明責任を促進する観点からの情報提供を推進
- 度をはじめとする透明性向上に向けた制度改革を推進

- 主要施策
◇基本
◇計画
わか
- の成果及び達成度の公表
構想に基づき策定された基本計画の着実な実施と区政の透明性を高めることを目的に実施に掲げられた事業の進ちょく状況の把握と主要な施策の達成目標の到達度を区民にりやすく公表



区役所2階区政情報コーナー



区民と大田区基本構想審議会委員との意見交換会